



令和8年度入園に向けて

育英幼稚園の魅力

学びのある豊かな遊びを伸び伸びと楽しむ中で、様々な力が身に付きます。

陽のあたる園庭で、思いきり体を動かして遊べます。
保育室から出入りしやすい環境も魅力の1つです。

地域の行事に参加したり、地域の方と触れ合ったりして、経験の幅が広がります。

教育目標

心身共に健康でたくましく、自立心のある心豊かな幼児の育成を目指す。

○友達と仲良く遊ぶ子ども ○健康でたくましい子ども ○よく見て考える子ども

育英幼稚園で経験できること

◆主体性を育む豊かな遊び

○思わずやってみたくなるような環境や素材を用意し、イメージを実現していく楽しさを味わえるようにしていきます。

○自分のやりたいことにじっくり取り組む中で、工夫したり、試したりしながら遊べるようにしていきます。

○少し難しいことにも挑戦し、粘り強く取り組めるようにしていきます。

◆様々な人との関わり

○学級や異年齢の友達と関わる中で、自分の気持ちの表し方を学んだり、友達の思いを受け入れたりする経験を積み重ね、自己肯定感や人への思いやりの気持ちを育てます。

○みんなでする楽しさや、友達と協力して1つのことをやりとげる満足感、達成感を味わえるようにします。

○小学生と触れ合ったり、授業の様子を見たりして、小学校生活へのあこがれの気持ちを育みます。

○挨拶、順番を守る、善悪の区別など、社会のルールや規範意識を身に付けられるようにしていきます。

◆地域や家庭との連携

○直接体験をする中で、遊びや興味の幅を広げていきます。

○様々な活動を通して、人と関わる楽しさを味わったり、地域への親しみをもったりできるようにします。

☆育英幼稚園では、遊びや生活の中で、1人1人に応じてこのような経験を積み重ね、お子さんのよさや可能性を伸ばしていきます。

☆教員は様々な研修や研究会に参加して、幼児理解を深めたり、遊びの環境を工夫したりするなど、日々専門性を磨き、遊びの充実に努めています。



育英幼稚園で育てたい子供像は？

変化のスピードが速く、予測が難しいこれからの社会では、指示されて行動するのではなく、自分で考え、判断し、行動できる主体性が求められます。育英幼稚園では、やりたいことを見付け、試したり工夫したりしながら遊ぶ中で主体性の土台を育てています。また、葛藤したり折り合いを付けたりする体験も大切にしています。たくさん遊ぶ中で、主体性、思考力、表現力、体力、人への思いやり、粘り強さなど、様々な力をバランスよく育てていきます。

「質の高い遊び」とは？ 遊びを中心とした保育のよさは？

育英幼稚園では、子供が1つのことに夢中になり、さらにおもしろくしようと「人・もの・こと」に主体的に関わり、興味・関心を高めながら遊ぶ姿を大切にしています。このような学びのある遊びを「質の高い遊び」と捉えています。

教員は、子供たちが困ったり、遊びが停滞したときに、その様子や遊びの状態をよく見て必要なことに気付かせるような言葉を掛けたり、必要なものをさりげなく提示したりしながら援助をしています。教員の適切な援助があることで、遊びは様々な形に発展していきます。

幼児期はゆとりある時間の中で、自分のペースでとことん遊ぶことが大切です。遊びは勉強の「休み時間」ではなく、自発的な学びの時間であり、遊びの中で多くのことを学べるようにしています。

参考：(検索キーワード)：文部科学省 遊びは学び、幼児期の大切な学びが分かる動画

<幼稚園教育要領の5領域> これらの力を遊びの中で総合的に培います。

- 「健康」 (運動機能、調整力、基本的な生活習慣、安全など)
- 「人間関係」 (人への親しみ・あこがれ、人と関わる力、自立心、規範意識など)
- 「環境」 (好奇心や探究心、数量や図形、文字への関心など)
- 「言葉」 (聞いたり話したりする力、想像力、挨拶など)
- 「表現」 (感性、表現力、工夫する力など)



日々の様子は
ホームページを
御覧ください。

<幼稚園の主な遊びや生活>

- 創造的な活動 (ごっこ遊び、積み木やブロックなどを使った構成遊び、造形遊びなど)
- 音楽的な活動 (歌、楽器遊び、リズム遊び、身体表現など)
- 運動的な活動・ルールのある遊び (鬼遊び、ボール遊び、縄遊び、巧技台遊び、固定遊具、ゲームなど)
- 自然体験活動 (園庭の自然環境・飼育物・栽培物との関わり、遠足など)
- 視覚言語的活動 (絵本、紙芝居、パネルシアターなど)
- 行事への取り組み (うんどうかい、遠足、こどもげきじょう 他)
- 台東育英小学校との連携・交流 (日々の交流、行事・授業への参加、教員同士の連携)

文字や数字は教えないのですか？

ワークシート等で文字を教える時間はありませんが、たとえば「手紙を書きたい」「お店の看板がほしい」「メニューが必要」など、子供の必要感に応じて、一緒に書いたり、書き方を知らせたりしています。また、収穫した玉ねぎの数を数えたり、じゃがいもの重さを比べたり、椅子を片付けるときに5脚ずつ重ねたりするなど、数や重さの感覚も生活の中で養っています。

幼児期には知識を増やしたり、小学校の学習を先取りしたりすることより先に、自分から「もっと知りたい!」「なんでだろう?」などという学ぶ「意欲」を育てることが大切です。この意欲が小学校の学習、そして生涯にわたって主体的に学ぶ姿につながっていきます。

幼稚園の一日（3歳児の生活）



朝の挨拶をして1日がスタート！

8：50 登園する

所持品の始末をする

自分で選んだ遊びをする



「自分で支度できるよ」



好きな遊びの時間には、積み木で家やお店を作ったり、紙や空き箱を使って好きなものを作ったり、園庭で遊んだり…自分の好きなことをじっとりと楽しめます。



10：40ごろ
片付ける

学級みんなで
する活動を楽しむ



片付けの後は、踊り、楽器遊び、制作、ゲーム、運動遊び…学級のみんなと一緒に遊びます。

11：50ごろ
昼食

園庭や校庭で遊ぶ



「みんなで食べるとおいしいね」



小学校の校庭やアリーナで思いきり体を動かして遊びます。

降園時の活動をする

降園する

降園後は親子で園庭で遊べます。
（園庭開放 15:30 まで）



毎日、絵本や紙芝居を楽しみます。

保育時間について ※3 歳児の降園時間の変更時期は年度によって変わります

3歳児入園当初 8時 50 分～11 時 40 分（～5月上旬）
※入園後、慣らし保育として 11 時降園の日が2、3日あります。

<弁当ありの日>

3 歳児 8時 50 分～13 時 00 分（5月上旬～）
 8時 50 分～13 時 40 分（7月上旬～）
 8時 50 分～14 時 00 分（9月上旬～3月）

4、5 歳児 8時 50 分～14 時 10 分

<午前保育の日> （月に数回 ※全教員が出張の日 等）

3歳児 8時 50 分～11 時 40 分
4、5 歳児 8時 50 分～11 時 50 分

服装について

園指定の園服（夏服期間6月～9月 気候に応じて移行期間あり）・紺半ズボン・園帽子

※登園後、園服を脱いで遊びます。

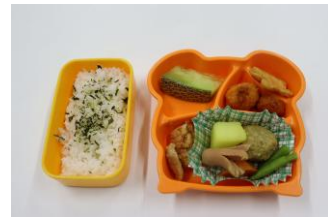
※園服の下に着る服は自由です。自分で脱ぎ着がしやすく、汚れてもいい服を着てきてください。

弁当給食について

外部業者による弁当給食が毎日提供されます。区から支援金が出るため、保護者の方の負担はありません。

※午前保育の日は提供はありません（預かり保育利用者を除く）

※アレルギーフリー食の対応もあります。（ご相談ください）



おかず（メイン、サブ数種類、果物）に、ごはんまたはパン（月2回程度）がつきます。

預かり保育（あさがおタイム）について

※9月現在の内容です。内容等に変更がある場合もあります。

令和7年度から台東区立幼稚園全園で、長期休業中を含む平日最大18時まで「あさがおタイム」という名称で預かり保育を行っています。

業務委託の形ではありますが、教職員同士の連携をとりながら進めています。

事業者：株式会社テnderラビングケアサービス

対象：就労等で保育の必要がある幼児

（就労の他、妊娠出産※利用できる期間は要問合せ、介護、病気 等）

○定期登録利用：各学年 定員7名（進級時、継続可能）

（要登録） 週5日または月20日就労している方。

定期利用の申し込み日に申し込むと、優先的に利用できます。

○非定期登録利用：利用定員30名から定期利用を除いた人数

（要登録） （例）定期利用が17人いた場合、非定期利用枠は13人

週5日または月20日に満たない就労をしている方など。定期利用の次に優先的に利用できます。申し込みが多かった場合は、抽選となります。

○一時利用、リフレッシュ利用（年間 12回まで）は、登録不要で利用できます。

<登録方法>

- ・定期登録、非定期登録の方は、入園申し込みと同時に登録申込書も提出してください。勤務証明書は入園申し込みの期間から、1月中旬ごろまでの提出となります。
- ・入園後は随時登録申し込みができます。（ただし、定期登録は空きがあった場合。空きがないときは非定期登録で利用してください）

<入園時、抽選になった場合>

- ・入園希望者、定期登録希望者が募集人数を超えた場合は抽選を行います。（どちらも抽選だった場合は、入園予定者を決定した後、定期登録予定者を決定します）

<利用申し込み方法>

- ・「予約システム RESERVA（レゼルバ）」というアプリを使っでの申し込みになります。利用月の2か月前の月に予約開始となります。
 - （例）6月分の利用→①定期利用の方 4月当初（申し込みと同時に確定）
 - ②非定期利用の方 4月中旬（定期利用と合わせて30人を超えた場合は抽選あり。前々日17日に確定）
 - ③一時利用・リフレッシュ利用・定期、非定期の申し込みを忘れたとき 4月下旬（前月1日に確定）
 - ④追加申し込み 5月1日～前日午後5時まで

<キャンセル>

- ・当日朝9時まで RESERVA でキャンセル入力してください。
 - ※9時以降の連絡の場合は料金が発生します。

実施日：平日（長期休業期間中を含む）

※年末年始、8月中旬の園閉鎖期間（お盆のころ 土日を入れて5、6日間程度）、土曜日に行う行事の振替休業日（育英幼稚園はR7は7月、10月、1月の3日）等、平日であっても預かり保育を実施しない日があります。

また、台風やインフルエンザ等で幼稚園が休園になった場合も実施しません。

※開園記念日（6月23日）、都民の日が平日だった場合は、預かり保育を行います。
この日の料金は1,400円（弁当給食代含む）です。

時間：8:50～最大 18:00（※勤務終了時間による）

※通勤場所が遠く、時間がかかる場合は、8:30～登園可（園と相談の上、決定）

定員：30人/1日

※令和7年7月現在	現3歳児	定期利用枠	7名	残0
	現4歳児	定期利用枠	6名	残1

※現在、申し込み時点では定員の30人を越えて抽選になる日がありますが、実際はキャンセルが出て利用できることが多いです。

利用料金：平日	日額 520円
長期休業期間	日額 1,400円（弁当給食代含む）

職員体制：事業者の正規保育士2名（9：30～18：30勤務）、非常勤保育士1名～2名

場所：幼稚園「みんなのへや」

※夕方、園庭で遊ぶこともあります

※夏季休業中は水を使って遊ぶ計画をしていますが、熱中症警戒アラートが出た場合は、会社の規定により、室内遊びに変更します

おやつ：家庭から持参していただきます。（生もの以外。個包装のクッキー、せんべい、ロールパンなど。事業者から内容について指示あり）

慣らし保育：

新しい場所、保育士での保育となるため、これまで集団生活を経験していたお子さんも不安を感じることがあります。入園式までは午前保育をおすすめしていますが、仕事の都合などで難しい場合は、相談に応じます。

昼寝：「しっかり寝かせてほしい」「夜寝ないので、寝かせないでほしい」など、各ご家庭のご要望に応じて昼寝します。

ただし、夏季休業中は暑さで疲れやすいため、全員横になる時間をとります。

年長児の3学期は、小学校生活のリズムをつくるため、基本的に昼寝はしません。

その他：親子遠足、保育参観、保護者会、PTA活動など、保護者の方が参加する行事があります。
親子苗植えや個人面談はお迎えの時間にずらすことも可能です。

諸費について（令和7年度参考金額）

○保育料 令和元年度10月より 無償となっています。

○その他 3歳児 26,775円/年
4、5歳児 38,775円/年

（内訳）

幼稚園に払うもの 教材費 10,000円/年、月刊絵本代 440円/月

PTAに払うもの PTA会費 11,000円/年、修了積立金 1,000円/月※

（※4、5歳児のみ）

※諸費は興産信用金庫で毎月引き落としします。（引き落とし手数料 55円/1回）

※遠足代等 その都度現金で集めるものもあります。

○用品代（令和7年度参考） ※価格や内容が変わることもあります。

※お知り合いにいただいたものを使ってもかまいません。

園服 （冬用 3,000円 夏用 2,500円）

園帽 （冬用 3,000円 夏用 3,000円）

園ズボン 2,200円

園かばん 4,000円

体操着（半袖） 1,850円 ※白無地のものであれば市販のものでも可、長袖も購入可

紅白帽子 700円

名札 150円

パステル 630円

ゴム印 400円

上履き 2,750円 ※ゴムの部分以外が白地であれば市販のものでも可

※4、5歳児入園の方は、この他にはさみ、マーカー、色鉛筆の購入があります。

入園までの手続きについて

10月下旬（予定）	募集案内・入園申込書 配布開始
11月上旬（予定）	入園申込受付（オンライン受付と幼稚園受付 2日間）
11月28日（金）午後	新入園時健康診断（健康診断・遊びの様子・園長面接）
1月上旬	入園内定通知 送付

★入園できる幼児

新3歳児…令和4年4月2日から令和5年4月1日までに生まれた幼児

新4歳児…令和3年4月2日から令和4年4月1日までに生まれた幼児

新5歳児…令和2年4月2日から令和3年4月1日までに生まれた幼児

★台東区に居住していること。

★11月上旬ごろ各クラスの募集人数を各幼稚園掲示板及び台東区公式ホームページに掲載します。

※区報「たいとう」10月5日号に詳細が載る予定です。

育英幼稚園 入園Q&A

Q：おむつが取れていません。入園までに取らなければいけませんか？

A：おむつが取れていなくても入園できます。

入園後は、お子さんの様子を見ながらパンツで登園できるようにしていきます。毎日同じ時間にトイレに誘う、トイレでおしっこが出たときの心地よさに共感するなど、園でも家庭でも同じようにトイレトレーニングを進めていきましょう。6月下旬のプール遊びが始まる時期を目標に進めていきましょう。（プール遊びまでにおむつがとれていないときは、個別にたらいで水遊びをします）

Q：親がいないと大泣きすると思いますが大丈夫でしょうか？

A：新しい生活やおうちの人と離れることに不安を感じ、入園当初に泣くお子さんは大勢います。5月の連休明けに泣くお子さん、夏休み明けに泣くお子さんもいます。我慢せず、たくさん泣いて大丈夫です。子供たちが幼稚園は泣いたり怒ったり、「ありのままの自分を出していいところ」と思えるように、園の先生との信頼関係をつくっていきます。個人差はありますが、5月ごろになると、気に入ったものや場を見付けて安心して過ごす姿が増えていきます。

Q：絵本バッグなどの持ちものは、手作りをしなければいけませんか？

A：既製品で大丈夫です。お子さんが使いやすいサイズを事前にお知らせしますので、だいたい同じぐらいのサイズのものを用意してください。

詳しくは2月の新入園児保護者会でお伝えしますが、早くに知りたい方は声を掛けてください。

Q：みんなで集まることを嫌がります。幼稚園では大丈夫でしょうか？

A：入園前の時期は、興味のあることを自分のペースでしたい時期です。幼稚園に入園したら、お子さんの興味に合った絵本や紙芝居、リズムダンス等を取り入れながら、集まってみんなで何かをする楽しさをらせていきます。一人一人のペースで集団での生活に慣れていくようにしますので、他のお子さんとは比べてあせらないことも大切です。

Q：登園するときに、自転車を使ってもいいですか？

A：通園範囲が広いので、自転車通園の方が多いです。（小学校との共同の自転車置き場を譲り合って使っています）

ただし、歩くことで次のような効果が期待されますので、幼稚園としては家のまわりなどで歩く経験を増やすことをおすすめしています。

○足腰が丈夫になり、体の動かし方が巧みになる。（体の動かし方が巧みになると、転んだときにも怪我をしにくくなったり、とっさにものを避けたりできるようになります）

○横断歩道の渡り方、安全に渡れるかどうかの判断力等が身に付く。

なにより、道端の花を見たり、その日のことを話したりするなど、親子の会話ができる大切なひとときです。

小学校入学はまだ先のように思うかもしれませんが、身に付くまでに時間のかかることですので、入学に向けて、少しずつ歩く機会を増やしていくといいと思います。

入園に向けて心配なことの相談、質問、見学のお申込みは

3866-6686（職員室） 園長 川崎 まで

どんなことでも遠慮なく御連絡ください。